

元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail: g04091@shugiin.go.jp ホームページ: <http://minshu.org/hosokawa/>

2005年4月27日 No.104

決算行政監視委員会の審議たけなわ

細川律夫代議士が委員長を務める衆議院決算行政監視委員会は、平成15年度決算をめくり、毎週審議が行われています。4月20日には予備費の承諾に関する委員会採決があり、翌日本会議で細川委員長が委員長報告をしました。

イラク派遣費用も対象

(以下はHPからの引用) 21日は、平成15年度決算のうち予備費の使用について承諾を求める件が衆議院本会議に提案され、私は決算行政監視委員長として議場で委員長報告を行いました。予備費とは主に災害など予期せぬ出来事が起こったときに備えるための支出で、通常は問題ない場合が多いのですが、15年度についてはイラクへの自衛隊派遣の費用が計上されていました。一般会計予備費使用総額約1320億円のうち約269億円という大変大きな金額がイラク関係であり、もちろん民主党はこの承諾に反対しました。しかし委員会では多数決によって可決され、私は委員長としての立場から、委員会において承諾を議決したという報告をしなければなりませんでした。

社会保険庁のデタラメぶりも

前日の委員会審議の中では、社会保険庁のデタラメな会計の例も取り上げられました。行事費として計上されている6億円という金額がまったく支出されておらず、他の経費に流用されているというのです。民主党の議員が、綱引きの綱のレン

タル料など、架空の予算を例に上げ、社会保険庁を追及しました。社会保険庁の上層部のデタラメぶりは留まるところを知りません。年金改革と併せ、社会保険庁のウミを徹底的に出さなければなりません。



決算行政監視委員会、南野法務大臣の答弁

5月9日より

東武線に女性専用車両

痴漢など迷惑行為防止対策の一つとして、東京圏でも女性専用車両の導入が検討されていましたが、このほど、5月の連休明けから導入することを各社が決めました。(JR埼京線は4月から実施中)これが痴漢対策の決め手になるわけではありませんが、被害にあっている女性にとっては朗報で、朝のラッシュ時に専用車両を選ぶことにより痴漢を避けることができます。

朝の上り準急最後部に

東武伊勢崎線・日光線については5月9日から、上り列車のうち、北千住駅に7時30分から9時までの間に到着する準急列車、及び始発から押上駅に9時20分までの間に到着する通勤準急と区間準急の、それぞれ最後部車両が女性専用となります。女性のほか、身体障害者と介助者の男性、及び小学生以下の男子も乗車することができます。

この結果、東武線準急で計18本、半蔵門線直通の通勤準急・区間準急で計20本の合計38本（東上線を含めると66本）に導入されることとなります。

ただ、とりあえず最後部だけの導入のため、特に忙しい時間帯は利用できない人も多く、専用車両のみに留まらない迷惑行為撲滅のためのいろいろな対策が求められています。

タクシーの混乱ぶりを視察

4月1日夜、民主党ハイタク政策議員懇の会長を引き受けている関係で、仙台でタクシーの渋滞を視察しました。3年前、タクシーの規制緩和によって増車や新規参入が簡単にできるようになった結果、今ではどの街でもタクシーがあふれ渋滞を引き起こし、他の車や歩行者にとって迷惑になっています。それとともに運転手さんの給料も下がる一方で、仙台では年収240万円との話。少なくとも家族を支えることのできる金額ではありません。労働条件が低下するととかく無理をし、事故にもつながっていきます。これらは全国的傾向ですが、特に「料金の大阪、増車の仙台」と言われ、50種類もの料金で混乱している大阪と並び称されるのが、増車が相次いだ仙台と言う訳で、いふならば仙台は東日本の最も典型的な例と言えます。仙台はここ3年間で3割以上車が増え、特に国分町のような繁華街ではほとんど車が流れない状態です。客が増えないのに増車を繰り返せば当然1日1車あたりの収入は減り、平成11年には約39,000円だったものが、昨年は27,000円程度

に落ちてしまったのです。「規制をなくせば市場原理が働き適正な車両数、料金になる」との規制緩和推進派の理屈がタクシーの場合全く通らなかったと言えるでしょう。その意味で、この政策は失敗と言わざるをえません。今後この状況を変えていくのが政治の役割です。（細川律夫HPより）



仙台のタクシー視察で

テレビの取材に答える細川律夫代議士

越谷市長選挙始動

今年10月に、選挙区である越谷市の選挙が行われますが、すでに事実上の選挙戦が始まっています。

細川代議士は板川市長を支持

細川代議士の友人でもある現職の板川文夫氏が3期目を目指しますが、前市長の子息も出馬に向け活動中です。細川代議士は全力で現職の板川市長を支持する決意です。

細川律夫から一言

JR尼崎の脱線事故は鉄道史上にも数える多数の犠牲者が出ました。安全こそ輸送の第一使命。何よりも徹底的な原因の究明と再発防止が重要である。国会では5月13日に国土交通委員会で集中審議である。